

医療安全対策委員会とは

■医療安全対策委員会をご存じですか？

医療安全対策委員会とは、医療現場における患者や職員の安全を確保するために、医療事故の防止やリスク管理を行う組織のことです。

目的と役割としては、医療事故、アクシデントやインシデント、ヒヤリハットの発生を防ぐために、次のような役割を担っています。

●事故防止策の検討：医療現場で発生した事故やインシデントの報告を受け、再発防止策を立案し、各部署に指示を出します。

●教育と啓発：医療安全に関する研修や啓発活動を企画・実施し、医療従事者の安全意識を高めます。

●リスクマネジメント：各部署にリスクマネージャーを配置し、問題点の報告と防止策の周知徹底を行います。

●定期的な評価：実施した対策の評価結果を確認し、必要に応じてマニュアルの見直しを行います。

■活動内容

医療安全対策委員会は、月に1回の定期的な会議を開催し、インシデントやアクシデント、ヒヤリハットの報告事例を検討します。また、医療事故防止マニュアルの策定や見直し、医療安全に関する研修の企画・運営も行っています。

■組織構成

医療安全対策委員会は、医療安全対策委員会責任者や医療従事者から構成され、院内の各診療科や部署と連携しながら活動します。委員会の活動を通じて、患者様が安心して治療を受けられる環境を整えることを目指し全力で患者様をお守りしています。

アクシデントとは、すでに発生した重大な事故そのものを指します。一方、インシデントは、重大な事故につながっていた可能性はあるけれど、実際にはアクシデントに至らなかった出来事を指します。つまり、実際に事故が起きたか、起きなかったかによって使いわけます。ヒヤリハットは、あと一步で事故が起きそうだった状況を指します。思いがけず「ヒヤリ」とした、ミスに気がついて「ハット」としたなどの様子を表します。天塩町立国民健康保険病院では、毎年、医療安全の学びを深め、よりよく実践できるような医療安全管理者養成オンラインセミナーを受講し学びを深めています。これから患者様の安全のため、病院で働く方の安全を確保するために、また病院として信頼して頂けるよう努力を重ねていきたいと考えております。

(文責：看護師 佐々木 恵)

◆お問い合わせ先◆ 天塩町立国民健康保険病院 ☎(2) 1058

防災ひとくちメモ

台風への備え、できていますか？

平成 28 年 8 月、北海道に台風が次々と接近・上陸し、大きな被害が発生しました。あのときの記憶が残っている方も多いのではないのでしょうか。実は、北日本で大きな災害をもたらした台風の多くは、8 月と 9 月に集中しています。

この時期は、夏のあいだに日本を覆っていた太平洋高気圧が弱まり、台風が近づきやすくなります。さらに、海水温が一年で最も高く、台風が勢力を保ったまま北上しやすいため、北海道でも大きな影響を受ける可能性があります。

台風の被害を減らすには、日ごろの備えが欠かせません。平常時にハザードマップで避難場所や経路を確認し、家族で共有しておきましょう。非常持ち出し品も、あらかじめそろえておくことが大切です。台風接近の情報を見聞きしたら、早めに家のまわりを点検しましょう。飛ばされそうな物は屋内にしまおうか、しっかり固定しましょう。あわせて、側溝や

排水溝の掃除もしておくとう安心です。停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ、モバイルバッテリーなども使える状態にしておきましょう。

台風が近づいたときは、気象台の警報・注意報や危険度分布(キキクル)、自治体からの避難情報を確認し、必要に応じて早めに避難行動をとることが重要です。

実際に暴風になると、飛来物でけがをしたり、車が横転したりすることもあります。大雨で冠水した道路では、側溝との境目が見えにくくなり、転落するおそれもあります。こうした中での避難は危険を伴います。だからこそ、風や雨が強まる前に、安全なうちに避難を始める判断が、自分と大切な人の命を守ることにつながります。

《台風情報(気象庁ホームページ)》

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

◆お問い合わせ先◆

旭川地方気象台

☎0166(32)7102

<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html>

